

えんど久子前市議など日本共産党 大分県と話し合い

別府署の隠しカメラ事件は許せない

これまでの隠し撮りを明らかにせよ



隠しカメラ問題を追及する堤栄三県議（右端）隣がえんど久子。県議会委員会室にて
2016.10.26.

猿渡（えんど）久子前別府市議や堤栄三県議（大分市選出）ら日本共産党大分県委員会
は、10月26日大分県と交渉を行いました。
この交渉は、10月7日に提出した290
項目の来年度予算要望について文書回答を受
け話し合ったもので、毎年行っています。

これまでも捜査にカメラ使用

これまでも選挙の捜査にビデオカメラを使用
したことを、堤栄三県議の県議会の委員会での
質問に答弁しています。26日の県交渉では
「選挙捜査にこれまでビデオカメラを何回使用
したのか」と堤栄三県議が質問しましたが「捜
査に支障をきたすので明らかにできない」など
と

回答。

許されない政治弾圧

これに対し、堤栄三県議は「何回やったか明
らかにしても何も問題はない」と何度も迫りま
した。えんど久子は「盗撮された会館の隣に
は、障がい者の事業所があり幅広い県民のプラ
イバシーを侵害している。許されない政治弾圧
だ。県民は、これまでいっどこでどういう形で
盗撮されたのか心配している。これまでもこれ
からも『必要な範囲と相当な方法であれば任意
捜査として許される』と警察庁は大分県警は言っ
ているが、是は問題だ。県民の信頼回復を言う
なら、これまでのビデオカメラ使用のできるだ
け詳しい内容を公表すべきだ」と主張。

資料の提出を約束

平野ふみかつ別府市議らも一緒に、真相を明ら
かにし再発防止をどうするのかなど、県民の疑
問に真摯に答えるべきだと迫りました。
そして、過去の選挙取り締まりに関するカメ
ラ撮影について、後日資料をもらうことを約束
しました。

ことは民主主義の問題です。真相を隠したま
ま幕引きをはかるなど、絶対に許されません。
国会で日本共産党もがんばっています。今後と
も力を合わせてがんばります。

日本共産党 県政ニュース

別府市石垣西8-2-31
日本共産党北部地区委員会
発行責任者 えんど久子
Tel.0977-22-6576

No. 5
2016.11.9.

4月の地震で不安の声が広がるなか

大分県として原発ゼロを求めよ

「県民を守れ」とえんど久子

10月26日の県交渉で、県として原発ゼロを掲げ他県や各市町村、国に求めるよう要望。大分県の回答は「直ちに他のエネルギーで賄うには課題がある」「安全対策や情報提供を強化していきたい」などというものでした。

えんど久子は「4月の地震で市民の中に伊方原発は

怖いという声があがっている。県民の安全を守るのが県の仕事だ。7月に伊方に行ったが、原発事故が起きれば県民は守れない。2年近く原発ゼロで電力に困ることはなかった。停止を求めるべきだ」と強く主張しました。

県知事にその姿勢がないことが問題です。



「みんなで止めよう伊方原発7.24全国集会」に参加した際のえんど久子（左）。全国から約700人が参加し「再稼働は許さん」と伊方原発3号機の近くで声をあげました。

2016. 7. 24. 愛媛県伊方にて

緊急通報システムの改善 来年度に実現！

別府市生活と健康を守る会（えんど久子会長）は、10月25日に別府市と話し合いを持ちました。その中で、緊急通報システムの改善が来年度実現することがわかりました。

以前から平野ふみかつ市議が市議会で提言し、生活と健康を守る会も求めてきたものです。

「現在の緊急通報システムは、非常事態が発生した場合に緊急ボタンを押すことにより警備員が駆けつけるサービスとなっておりますが、平成29年度からは既存のサービスに加え日々安否確認が可能なシステムを導入する予定です。具体的には、毎朝定時（希望時間）に固定器の安否ボタンを押していただき安否確認する方法、別機種では携帯型端末を利用しその内部センサーにより携帯を決まった時間に利用しなかった場合に通報がなされ安否確認に至る機種等でありま

